

3. 在宅高齢者聞き取り調査

1. 調査概要

高齢者お達者プランの策定にあたり、自宅に住む高齢者に、現在の生活状況、困り事などの他、望む暮らしや生活支援等の実態及び意識調査を実施

- (1) 調査対象者 自宅に住む独居高齢者及び高齢世帯の方
 （二次予防事業対象者、要支援・要介護認定者）
 ①塩屋地区 ②湖北地区 ③西谷・東谷地区にお住まいの方
 （市内で比較的人口が少なく地域資源も乏しい地域として選定。）
 計 50 人（①：15 人 ②：6 人 ③：29 人）
- (2) 調査方法 対象者の自宅を訪問（面接による聞き取り調査）
- (3) 実施時期 平成 26 年 7 月～8 月
- (4) 回答数 36 件（回答率 72%）

2. 調査結果

(1) 生活上の困り事について

◆買い物

困りごとの有無	今はどうしているか				総計	
	自分で している	同居の家族 がしている	別居の家族 がしている	その他		
困っている	1	2	3	2	8	22.2%
困っていない	15	9	4	0	28	77.8%
総計	16	11	7	2	36	100.0%
(困っている内容)						
・自分で行けない（2名）						
・交通手段（バスの本数が少ない。待ち時間が長い。タクシーが高い）（5名）						
(今はどうしているか) 同居の家族						
・妻がしている（5名）						
・夫の車で一緒に行っている（2名）						
・夫がしている						
・息子が買い物してきたり、一緒に受診帰り等に行くときもある。						
(今はどうしているか) 別居の家族						
・娘、息子が買ってきてくれる。（5名）						
・娘と一緒に買いに行っている。（2名）						
(今はどうしているか) その他						
・隣の車に乗せてもらって3千円程度払っている。商品も安いし自分で選べる。						
・月1回の通院の際に自分で。他は、週1回程度、娘（県外在住）が買ってきてくれる。						
(どのような支援があればよいか)						
・交通手段の充実（小さくていいので頻回なバス。何らかの送迎）（8名）						
・売り場（公民館に売りに来る。コンビニ）（2名）						

◆家事（掃除・洗濯・調理等）

困りごとの有無	今はどうしているか				総計	
	自分で している	同居の家族 がしている	別居の家族 がしている	その他		
困っている	2	1		1	4	11.1%
困っていない	25	6	1		32	88.9%
総計	27	7	1	1	36	100.0%
(困っている内容)						
・足に負担がかけられない（2名） ・何もできない						
(今はどうしているか) 同居の家族						
・妻がしている（5名） ・息子がしている						
(今はどうしているか) 別居の家族						
・息子がしている						
(今はどうしているか) その他						
・ヘルパーを利用している						
(どのような支援があればよいか)						
・できなくなったときに頼めるところがあれば助かる。 ・リハビリ等に通いたい、介護が必要な母もいるので・・・こういうのを何とかできたら。						

◆ゴミだし

困りごとの有無	今はどうしているか				総計	
	自分で している	同居の家族 がしている	別居の家族 がしている	その他		
困っている		2			2	5.6%
困っていない	24	8	1	1	34	94.4%
総計	24	10	1	1	36	100.0%
(今はどうしているか) 同居の家族						
・妻がしている（5名） ・夫がしている ・燃えないゴミは夫がしている（他は自分で）						
(今はどうしているか) 別居の家族						
・孫が来た時にお願いしている						
(今はどうしているか) その他						
・一度転んでから、近所の親せきや隣人がついでに持って行ってくれる ・台車で出しに行く。雨の日は娘。隣の区長さんは代わりにだしてくれたりする						

◆医療機関の受診(通院の移動含む)

困りごとの有無	今はどうしているか				総計	
	自分で している	同居の家族 としている	別居の家族 としている	その他		
困っている		2		2	4	11.1%
困っていない	18	7	3	4	32	88.9%
総計	18	9	3	6	36	100.0%
(困っている内容)						
・交通手段(車がなくタクシー利用)(2名) ・何もできない						
(今はどうしているか) 同居の家族						
・妻と一緒にいる(5名) ・夫の車でいる(3名)						
(今はどうしているか) 別居の家族						
・娘、息子の送迎(3名)						
(今はどうしているか) その他						
・行かない(2名) ・タクシー利用(老人車を持っていいのかわからず、不便)(2名) ・バスで行くか、近所の人の車に乗せてもらっている。 ・お店(美容)に来る人が乗せてくれる。						
(どのような支援があればよいか)						
・交通手段の充実(小さくてもいいので頻回なバス。老人車に乗せていけたら)(7名) ・費用の支援 ・できなくなったときに頼めるところがあれば助かる。						

◆お金の管理(預金の出し入れ等含む)

困りごとの有無	今はどうしているか				総計	
	自分で している	同居の家族 がしている	別居の家族 がしている	その他		
困っている					0	0.0%
困っていない	27	6	2	1	36	100.0%
総計	27	6	2	1	36	100.0%
(今はどうしているか) 同居の家族						
・妻がしている(4名) ・娘、息子がしている(2名)						
(今はどうしているか) 別居の家族						
・娘、息子がしている(2名)						
(今はどうしているか) その他						
・農協が管理してくれている。大きなお金を動かすときはお嫁さんに依頼する。						
(どのような支援があればよいか)						
・(預金の出し入れの際の)送迎						

◆家の管理(家屋の補修・庭木の手入れ等)

困りごとの有無	今はどうしているか				総計	
	自分で している	同居の家族 がしている	別居の家族 がしている	その他		
困っている	2		1		3	8.3%
困っていない	13	10	2	8	33	91.7%
総計	15	10	3	8	36	100.0%
(困っている内容)						
・膝が悪く台を使う高いところの電球交換とかは無理。 ・除草、植木の手入れ						
(今はどうしているか) 同居の家族						
・夫がしている(2名) ・妻がしている(3名) ・息子がしている ・義理の妹がしている ・兄や姪がしている						
(今はどうしているか) 別居の家族						
・息子がしている ・子供たちがしている						
(今はどうしているか) その他						
・業者に頼んでいる(大工・植木屋)(3名) ・夫や隣の本家がしてくれる ・大家がしてくれる。 ・植木屋(庭木の手入れ)、草むしり(自分)、家の老朽化の修繕手配(別居の息子) ・修繕とかはできる限りしない						
(どのような支援があればよいか)						
・特に考えたことが無いが、頼む人もいなくなったりで出来なくなった時に入れる入居施設。 ・メニューを限定しないお互い様支援体制 ・維持管理に関する支援 ・除草をしてくれるボランティア。植木を切って処分するまでをシルバー。 ・自分でどうにもならないもの。例えば屋根の修理など格安で見てくれるところがほしい。						

◆雪かき

困りごとの有無	今はどうしているか				総計	
	自分で している	同居の家族 がしている	別居の家族 がしている	その他		
困っている	3	2			5	13.9%
困っていない	11	8	4	8	31	86.1%
総計	14	10	4	8	36	100.0%
(困っている内容)						
・できない(一番大きな不安。一人でできない。外出できなくなる。)(3名)						
(今はどうしているか) 同居の家族						
・妻がしている(2名) ・夫がしている						
・息子がしている ・義理の妹がしている						
(今はどうしているか) 別居の家族						
・息子がしている(2名) ・娘の夫がしている						
・息子、娘の夫、孫男手が集まってくれる						
(今はどうしているか) その他						
・道は除雪車。玄関先は足でふみつぶしている(2名)						
・近所の人がしてくれる(2名) ・大家がしてくれる						
・屋根は業者がしている						
・たいして降らないし雪かきはしない						
(どのような支援があればよいか)						
・手軽に頼めるところ、手伝ってくれる人がほしい(5名)						
・何かしらの援助						
・近所の空き家の前の雪かき						

◆その他

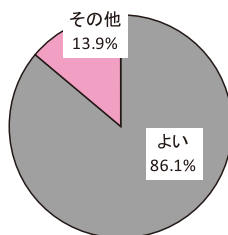
困りごとの有無	今はどうしているか					総計
	自分で している	同居の家族 がしている	別居の家族 がしている	その他	無回答	
困っている	3	2	1	2		8
困っていない	3	1	2	1	21	28
総計	6	3	3	3		36
(困っている内容)						
・介護している息子が時間を拘束されていることが一番辛い。週4日は身動きできない。						
・ちょっとしたことを手伝ってくれる人がいない						
・バスの本数が少なく、好きな時に出かけられず不便。						
(現在は、午後から出かけるバスがなく、夕方の集まりが大聖寺であっても行けない。)						
(今はどうしているか)						
・娘との連携で支援。息子の我慢。						
・午前中に行ける通院はバスを利用しているが、午後からの集まりには出かけていない。						
(どのような支援があればよいか)						
・交通手段(バス)の充実(2名)						
・支援者がいると良い。ボランティアよりも少しでもお金を払うほうが気兼ねせずに利用できる。						
・サービスになじむための工夫や外に行きやすいような工夫。						
・広報等で情報は得ているが誰に聞いても分からないことが多い。的確な情報がほしい。						

(2) 今の生活について

◆家族関係について

ア. 家族の相性

		「その他」の内容
よい	31	・ふつう(2名)
悪い	0	・家族はいない(2名)
その他	5	
総計	36	

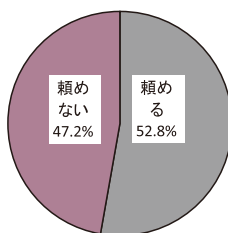


イ. 介護を頼める関係か

頼める	19
頼めない	17
総計	36

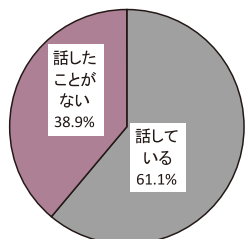
「頼めない」理由

- ・家族にも家庭や自分の生活があるから。(4名)
- ・普段の付き合いが少ない。(2名)
- ・遠くに住んでいるから(2名)
- ・迷惑をかけたくない
- ・頼めば聞いてくれるだろうが頼めない。
- ・お互いにつらくなるだろうから。
- ・自分が元気で考えたくない。



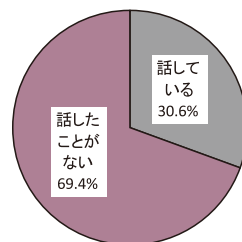
ウ. 将来について話しているか

話している	22
話したことがない	14
総計	36



エ. 緊急時のことを話しているか

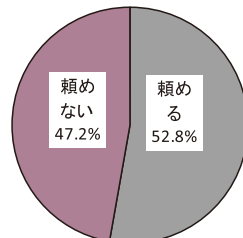
話している	11
話したことがない	25
総計	36



◆医療について

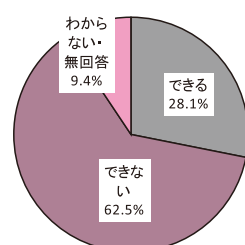
ア. かかりつけの医療機関はあるか

		医療機関
ある	32	病院(21名) 診療所(14名)
ない	4	＜病院内訳＞
総計	36	・山中医療センター(10名)
		・加賀市民病院(6名)
		・石川病院(2名)
		・その他(3名)



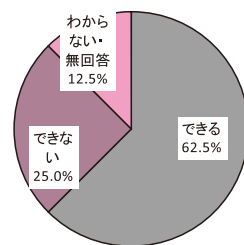
イ. 訪問診療を受けることができるか

できる	9
できない	20
わからない・無回答	3
総計	32



ウ. 先生と看取りの話ができるか

できる	20
できない	8
わからない・無回答	4
総計	32



◆その他

ア. 頼りにしている人はいるか

		頼りにしている人
いる	35	・子供(5名) ・息子(5名) ・娘(7名)
いない	1	・妻(5名) ・夫(3名) ・妻+近所の人
総計	36	・近所の人(2名) ・甥+近所の人
		・娘+姉 ・娘+甥(近所) ・娘+友達(近所)
		・妹(2名) ・兄

◆介護保険について ※認定者のみ

ア.申請した理由は何ですか (どんなサービスを利用したかったか)	イ.サービスを利用してよかったことは？
ベッドレンタル、話し相手。(娘まかせなのでよくわからない。)	話し相手がいてよい。
退院時ADL低下のため機能回復目的	週2回訪リハを受けたときは楽になるがすぐに戻る。でもこれだけは続けたい。話もできて楽しい。訪問リハ(歩行訓練、他動訓練)以外で自分では何も行なっていない。唯一の運動の時間。
ケガで歩けなくなり、近所の人(長寿課調査員)にリハビリがしたいと相談し、紹介を受けた。	日中1人で過ごすことが減った。自宅近くのデイサービスでリハビリができる。
パーキンソンになった。	妻の負担が少しでも減る。
普段から体が弱く、救急搬送が多かった。脳梗塞にもなったため。	自宅でも寝たままだった。デイサービスでリハビリができ、気分転換がはかれ、妻に時間ができたこと。
障害者なので生活の支援やデイを利用したかった。	職員の方々がとても良い。
身体が悪くなり	デイで外出できる。
ペースメーカーや膝・腰のこと	ケアマネさんが良い人で相談しやすい。ヘルパーさんが良くしてくれる。
県外にいる娘に促されて	ケアマネさんも職員さんもとても良い。
後縦靭帯骨化症	相談できるところができた(妻の思い)。
両ひざのことで相談	訪問リハの先生との相性が良い。
下肢のことで相談した。	住宅のリフォームができた。

(3) 将来の生活について

◆将来どこで暮らしたいか・実際は将来どこで暮らしているか

将来どこで暮らしたいか	実際はどこで暮らしていると思うか					総計
	現在の住宅で暮らしている	高齢者専用のバリアフリー住宅等へ住み替えている	介護福祉施設に入所している	その他	無回答	
現在の住宅で暮らしたい	20		5	3	2	30
高齢者専用のバリアフリー住宅等へ住み替えたい		1				1
介護福祉施設に入所したい	2		2			4
その他				1		1
総計	22	1	7	4	2	36
	61.1%	2.8%	19.4%	11.1%	5.6%	100.0%

◆将来どこで暮らしたいか・理由(現在の住宅で暮らしたい)

現在の住宅で暮らしたい	
ずっと暮らしているし、お金もない。	(男、70～74歳)
五体満足なうちは家で。	(男、70～74歳)
家がいいに決まっている。	(男、70～74歳)
一軒家がいい。引っ越すお金もない。	(男、75～79歳)
家が・妻が一番。施設になると家族のペットとも離れないといけなくなる。	(男、75～79歳)
やっぱり家がいい。妻の愚痴を聞きながらいたいです。	(男、75～79歳)
家が気楽でいい。周囲も知った人ばかりだから。	(男、75～79歳)
自分の家が一番。	(男、75～79歳)
住むのは自宅。温泉とか二人で行きたい。	(男、75～79歳)
先祖代々居る。住み慣れたところ。息子が金沢に居て一緒に住もうといわれているがやっぱり気兼ね。	(男、85～89歳)
自宅がいい。	(男、85～89歳)
今までどおりがいい。	(男、90～94歳)
自宅が一番。	(女、65～69歳)
子供に悪くて頼めない。	(女、70～74歳)
楽だから。	(女、70～74歳)
やっぱり自宅でしょう。	(女、70～74歳)
自宅が一番。	(女、70～74歳)
やっぱり自分の家がいい。	(女、75～79歳)
家が楽。	(女、75～79歳)
やっぱり家がいい。	(女、75～79歳)
住み慣れたところだから。お墓に花を持っていけるから。	(女、80～84歳)
それしか考えられない。	(女、80～84歳)
一人が気楽。	(女、80～84歳)
長いこと住み慣れた地域だから。	(女、85～89歳)
自分の家がいい。	(女、85～89歳)
ひとりが楽。	(女、85～89歳)
家から出ることは考えていない。	(女、85～89歳)
自分で生活できる間は自分でしたい。	(女、85～89歳)
何十年も住んでいるから。	(女、90～94歳)

◆将来どこで暮らしたいか・理由(高齢者専用のバリアフリー住宅等へ住み替えたい)

高齢者専用のバリアフリー住宅等へ住み替えたい	
自分の身の回りのことが大変になってきた。70歳くらいが自分のことができる限界ではないかと思う。	(男、65～69歳)

◆将来どこで暮らしたいか・理由(介護福祉施設に入所したい)

介護福祉施設に入所したい	
妻が何かあったらと考えたとその前に二人で施設に入ってしまいたい。	(男、70～74歳)
娘が心配するから。	(女、75～79歳)
一人暮らしなので、自分が動けなくなったとき介護してくれる人が必要だから。	(女、80～84歳)
そりゃ家が一番。	(女、80～84歳)

◆将来どこで暮らしたいか・理由(その他)

その他	
(現在の住宅か、娘の家で暮らしたい。)住み替えるとお金がかかる。せっかく建てた家なので、ずっと住みたい。	(女、70～74歳)

◆望みが叶えられない理由(現在の住宅で暮らしたい⇒介護福祉施設に入所している)

現在の住宅で暮らしたい⇒介護福祉施設に入所している	
子どもに迷惑はかけられない。子どもも孫の面倒を見なければならない。	(男、70～74歳)
悪くなる一方なのでそれしかないと思う。	(男、90～94歳)
動けなくなったら入らないといけない。	(女、75～79歳)
自身の状態が悪くなった場合。	(女、80～84歳)
これから悪くなくても家にいたいだろうが、息子の立場として身体介護(排泄)は互いに嫌だろうから、その介護が必要になったら施設を考える。または息子が病気になったりしたら施設とも思うし、本人にもそのような話はしている。(嫌だろうけど)息子談。	(女、85～89歳)

◆どうしたら望みどおりになるか(現在の住宅で暮らしたい⇒介護福祉施設に入所している)

現在の住宅で暮らしたい⇒介護福祉施設に入所している	
膝がこれ以上悪くならない。	(女、75～79歳)
日々のリハビリ・散歩をがんばる。	(女、80～84歳)
24時間の巡回のサービスも料金等話を聞いて見合えば利用してみたい。	(女、85～89歳)

◆どうしたら望みどおりになるか(介護福祉施設に入所したい⇒現在の住宅で暮らしている)

介護福祉施設に入所している⇒現在の住宅で暮らしている	
毎日見に来てくれる人がいたら安心。自分から毎日電話することも必要かも。	(女、75～79歳)

◆その他(今の介護サービスで生活できそうか)

その他(今の介護サービスで生活できそうか)	
身の回りができなくなった時に入居できる(経済的に)施設。ヘルパー支援もお金がかかると聞いているのでよく考えてからにはなるが。	(男、65～69歳)
行政に期待することはない。	(男、70～74歳)
必要な時には施設に入れるようにしてほしい。	(男、70～74歳)
妻のことや家のこと、いろいろな環境を踏まえてできる限り自宅にいたい。ただ、迷惑をかけながらは嫌なので、その時は専門の人がいる施設でいい。	(男、75～79歳)
身体が元気なことが前提。悪くなればどこかに入らないといけなと思っています。	(男、75～79歳)
介護サービスはいろいろあるけど何も知らない分からない。 ご飯用意のことが一番気になる。配食等あればいい。バスのこと、雪かき。	(男、85～89歳)
担当のケアマネさんがいいのにしてくれているのでいい。	(男、90～94歳)
自分の状態がどうなるかによるので、実際、どんな介護サービスを受けないといけな かは、その時になってみないとわからない。(介護が必要になった時は、娘の世話になる と思う。)	(女、70～74歳)
自宅にいたいとは言ったが、体によってなので悪くなれば嫁や娘に相談します。今のと ころ深く考えていない。	(女、70～74歳)
デイの回数を増やしてほしい。週2回は通いたい。	(女、75～79歳)
以前、知人が介護サービスを利用しており、車で迎えにきたりしていた。(最期は病院に 入院し、数か月で亡くなった。)その人は、家族と同居していたから、家族と介護サービ スの連携があって、自宅で生活できたと思うが、一人暮らしだと、介護が必要になったとき 自宅での生活は無理ではないか。入院するしかないのではと思っている。	(女、80～84歳)
介護サービスを利用する際の費用面が心配。(費用がたくさんかかると利用できないの ではないか。)	(女、80～84歳)
特に望むものはない。	(女、80～84歳)
介護保険を利用したとして、自宅に来てもらうようなサービスは受けたくない。その時は 夫婦で施設に入りたい。	(女、80～84歳)
緊急時のことが一番不安。すぐに連絡がついて駆けつけてくれたり、してくれるのが一 番心配。	(女、85～89歳)
特に期待することはない。話し相手も友達がいなくなった事がさみしい。	(女、90～94歳)